



清風クラブ
ひらままさじ治
平間 正治

学校再開、児童・生徒に寄り添って！

その他の
質問事項

▼ コロナ対策として市の独自支援について

◆部活等、集大成となる場の創出を

問 コロナ禍により学校行事、スポーツ大会等が中止となっている。

特に、これまで頑張ってきた中学3年生については、思い出の場となり集大成となる場を是非設けてほしい。

答 中体連などが代替の大会開催を計画しているが、その他の競技や文化系の部活についても、集大成となる場を創出していきたい。

(教育総務課)

◆授業の遅れへの対応は

問 6月1日から学校再開となったが、約2か月の遅れである。国は、今年度の履修課程の繰り越しも認めているが、本市ではどうするのか。

答 本市では今年度中に全課程を修了する予定である。年間登校日数は、小学校で202日、中学校では205日で、4



学校再開、部活動も再開

(都市計画課)

答 説明会の開催などにより、市民の理解を得ていきたい。

◆小坂田公園再整備内容に市民同意を

問 子育て世代の多くは、市内で子供を遊びに連れていけることを望んでいる。再整備内容は目的が不明確であり、市民の皆さんのコンセンサスが得られているのか。

(教育総務課)

新型コロナウイルス助け合い基金の創設を

その他の
質問事項

- ▼ 感染第2波対策は検査体制の充実で
- ▼ 市の業務に及んだ影響



令和改進黨
あおやぎ 青柳 充茂

◆議員報酬の削減で

問 新型コロナウイルスによる経済的ショックはリーマンショックを遥かに超えると言われるほどの非常事態だ。実態把握はしっかり出来ているか。十分な支援は出来ているか。漏れはないか。

答 国が決めた要件を満たさないことを理由に支援の対象から外される。本当に助けが必要な人を一人残らず支援するべきだ。どうしても塩尻市独自の支援策が必要だ。

そのためには自主財源により生活や事業のきめ細かな支援ができる仕組みが必要であり、それが私の提案する「塩尻市新型コロナウイルス助け合い基金」の創設だ。

先ず、議員報酬を来年度3月まで1割削減した上で、職員給与1%の削減を呼びかける。本年度予算で、これまでに予算凍結となった8000万円、さらには来年度以降に回

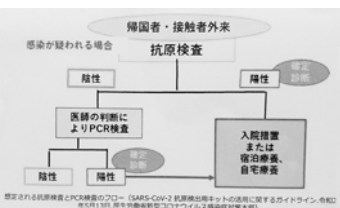
せる事業等の予算を回すことも可能ではないか。

これは市民の声である。基金が創設されれば市民有志からの寄付にも繋がってゆくと考える。市の考えは。

答 多くの市民や事業者の痛みを共有し、広く支援に繋げる考えには同意するが、職員給与の減額による経済へのマイナスの影響もあり、現時点においては、独自に給与減額の一時的措置ではなく、長期的な視点で景気状況や国の動向を注視したい。

(副市長)

要望 感染第2波に備えるためにも、その時が来たら一日でも早く基金の創設をお願いする。



抗原検査図